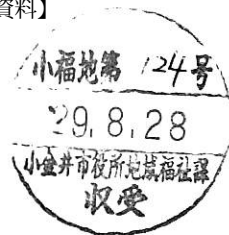


(仮称) 小金井市新福祉社会館建設  
市民検討委員会委員長 根上彰生 様  
委員各位



平成 29 年 8 月 28 日  
早期に新福祉社会館建設をめざす会  
世話人代表 加藤了教

### 提案書

早期に新福祉社会館建設をめざす会は(以下めざす会)、旧福祉社会館(公民館本館含む)を利用していた団体や個人が集まり「早期に新福祉社会館建設(公民館を含む)する」ことを目的に、「早期に新福祉社会館建設(公民館含む)」結成し、市に要望書(1,140余)提出するとともに、市長や関係部局との意見交換会、市議会に陳情書を提出し、採択をいただいております。このたび(仮称)小金井市新福祉社会館建設市民検討委員会が発足し、新福祉社会館建設に関する問題について諮問を受け、答申することされることとなります。めざす会は、以下の問題について提案いたします。市民検討委員会で検証し、計画に反映させていただきたく思います。

- 1、旧福祉社会館や(仮称)小金井市新福祉社会館建設計画(旧案)で導入予定であった障害者や高齢者のサービス等機能が外されています。新福祉社会館に含める必要性や経過等について検証してください。

例えばア、福祉共同作業所、娯楽室、ふれ愛ギャラリー、ふれ愛センター福祉機器展示場、売店、喫茶室(母子寡婦福祉会)、健康治療室(健康ルーム)、福祉マッサージなど。

#### イ、浴室や健康治療室を廃止することについて

平成 26 年度の浴室利用は 6,732 人、健康治療器利用者は 4,987 人ありました。市民にとって貴重な施設であります。小金井市には銭湯は 1 軒しかありません。近隣市の武蔵野市は 6 軒、府中市 5 軒、小平市 4 軒、西東京市 4 軒、国分寺市 3 軒あります。旧福祉社会館にあった浴室を無くさないでください。健康治療室も無くさないでください。

ウ、旧案では障害者地域自立生活センター、精神障害者生活支援センター(そら)、障害者就労支援センターこころ、の 3 つの支援センターが同じフロアに導入されることになっていました。旧案には「利用者及び議会からの要望等を踏まえ、利用者の利便性及び各事業所の円滑な連携を図るため(仮)福祉保健センター内に相談窓口一本化を図るとともに、相談窓口の充実を図ります」とあります。ところが(素案)には障害者就労支援センターだけが入り、2 つの支援センターは外されています。なぜ外されたのか検証が必要です。

- 2、新福祉社会館内に公民館(本館)を入れてください。

① 平成 29 年 4 月 15 日及び 21 日に行われた市民説明会でも、「新福祉社会館建設にあたり公民館(本館)を考慮して欲しい」等の公民館(本館)存続の意見が多数寄せられています。市は「市民検討委員会を含めた検討を見守っていただきたい」との回答をしています。

② 公民館本館の閉鎖は一時的な措置であります

平成 28 年 3 月、福社会館と共に公民館（本館）が閉鎖され、公民館本町分館が仮移転の場所になりました。これにより「公民館本町分館は、当分の間休止する」（小金井市公民館条例第 24 条 4）ことになりました。公民館（本館）の閉鎖は一時的な措置となっています。

③ 公民館中長期計画の策定の答申書（平成 29 年 7 月 20 日）には、「早急に移転計画策定し、その実現を図ってほしい」「場所は、中央線より南側、蛇の目跡地から現本庁舎の間とするとあります」。新福社会館内に公民館本館を入れるのが合理的と考えます。

④ 公民館空白地域をなくす

公民館は小金井市域に公民館（本館）と 5 館の分館体制でバランスよく配置されていました。公民館（本館）が閉鎖されたことにより、旧福社会館の半径 600m 以内の人口 1 万人以上が公民館空白地域となりました。（中町 1・3・4 丁目、本町 1 丁目、前原町の一部）公民館空白地域をなくすことが必要です。

⑤ 福社会館と公民館（本館）の連携・協力体制強化

福社会館と公民館は法的位置づけでは異なりますが、役割や機能では重なる部分が多くあります。福社会館の中に公民館（本館）が入ることにより、お互いの連携、協力がより強まります。

3、早期に新福社会館建設するよう、スケジュールを前倒ししてください。

旧福社会館は年間 9 万 5 千人からの市民、団体が利用していましたが、閉館により活動の縮小、停止、解散を余儀なくされている団体が多数出ています。施設の利用ができなくなった市民が多く出ています。

（素案 1 ページ）「地域における福祉活動の拠点である地域福祉センター、高齢者に対する健康増進、教養の向上を目的とした老人福祉センター、また生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とした公民館といった 3 つの機能」が欠かせません。また、（素案 2 ページ）「閉館した旧福社会館は、早急に機能を回復することが求められています」とあります。

新庁舎建設スケジュールに合わせることなく、早期の建設スケジュールを示してください。

4、延床面積の見直しを求めます

（素案）によると「延べ床面積 3500 m<sup>2</sup>を基本とし」（素案 17 ページ）とあります。市長は市議会等で「市民検討委員会の論議をふまえて総合的に考えていく」「3,500 m<sup>2</sup>は一定の目安である」と述べています。旧案にはなかった「保健センター、子ども家庭支援センター等」が新しく導入される計画により、障害者や高齢者の機能が外されています。導入される新しい機能が加わるならば、基本的にその分の床面面積の積み増しが必要なると考えます。